

第7回
岡大サイエンスカフェ

遺跡で読む 古代人の心と社会

～倉敷市勝負砂古墳の発掘調査から～

講師：岡山大学文学部人文学科

准教授 松木 武彦

2007年春、岡山大学文学部考古学研究室は、倉敷市真備町の勝負砂古墳を発掘し、1500年前に埋葬が行われたまま一度も盗掘されることのなかった竪穴式石室を発見しました。内部からは、人骨や棺の痕跡とともに、青銅製の鏡・馬具、鉄製のよろい・刀・矢じり・農具、赤色顔料を容れた壺、砥石、滑石のビーズ、漆製品など、たくさんの貴重な副葬品が見つかりました。現在、これらの資料は大学に持ち帰り、他の研究機関や専門家の協力を得ながら、科学的な分析を進めています。鏡やよろいが何種類もの繊維で丁寧に包まれていたこと、顔料の成分、馬具の構造、人骨の性別や年齢などが、最新の分析技術で明らかになりつつあります。文系・理系両学問の接点ともいえる考古学が、1500年前の技術や文化をどのように解明しているのか、最前線の成果をお伝えしたいと思います。



参加者募集

◆開催日時

平成20年4月24日(木)

午後6:00～7:30

◆開催場所

岡山大学創立五十周年記念館

◆申込先

岡山大学 社会連携センター

FAX:086-251-8467

E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp

◆締め切り

平成20年4月18日(金) 午後5時

氏名・年齢・連絡先・電話番号は必ず明記してください

◆参加費

無料(飲みもの含む)

◆問い合わせ先

Tel:086-251-7112

社会連携センター 松浦



社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも
(岡山大学の教職員・学生は対象外)